

# 高等学校第2学年 保健体育科 学習指導案

期 日 平成23年10月19日(水) 第5校時

場 所 県立宇土高等学校 2年2組 教室

指導者 教諭 横田 大典

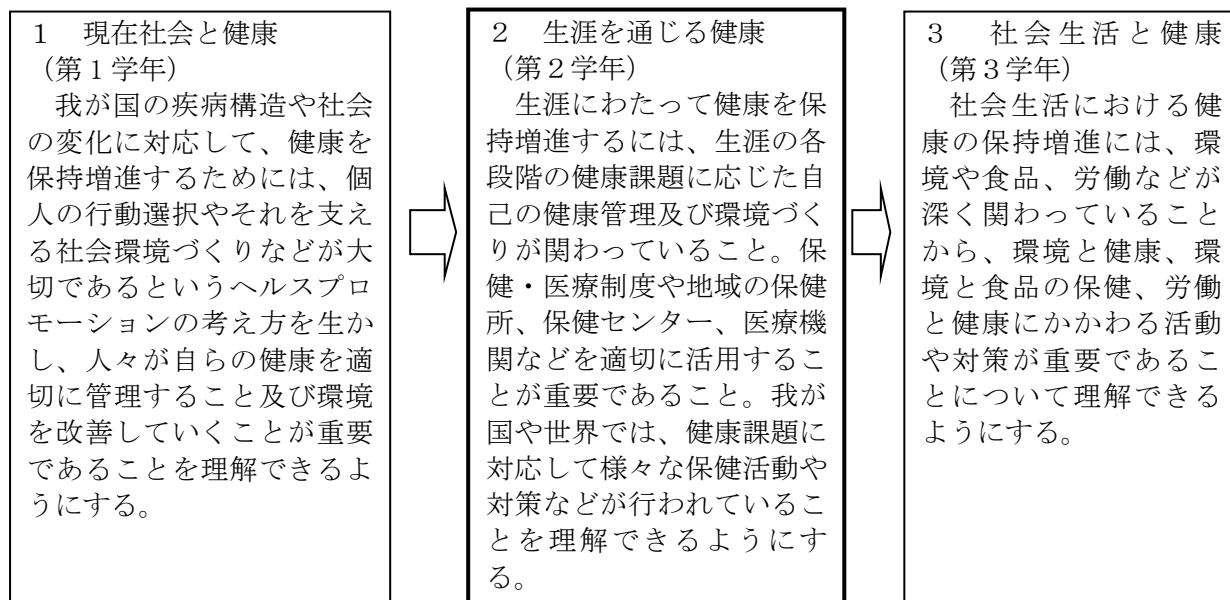
## 1 単元名 生涯を通じる健康(「現代保健体育」大修館書店)

### 2 単元について

#### (1) 単元観

本単元は、生涯の各段階において健康にかかわる様々な課題があることを受け、自ら小手に適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにすることをねらったものである。生涯を通じて健康の保持増進をするためには、生涯の各段階に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかわっていること、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であることなどについて理解させる。また、様々な状況に応じて適切な意志決定や行動選択をする必要であることについて考えさせる単元である。これらの学習において、生徒一人一人に、生涯を通じて自らの健康を大切に保管し、改善していく資質や能力を育てることに適した単元である。

#### (2) 系統観



#### (3) 生徒観(男子18人、女子23人、計41人)

○全体的には落ち着きがあり、学習に集中して取り組むことができる。明るく元気な生徒が多く、特に男子生徒には、自分の考えを進んで発言する生徒が数人いる。

○自分の考えや意見を積極的に表現する生徒達がリードするため、授業の自然な発言が出されやすい雰囲気がある。しかし、発言は一部の生徒に限られてしまうことも多く、他者の考えや意見に対して自分の意見を述べるなどの交流はあまり行われず、互いに考えを深め合う場面はあまり見られない。

#### (4) 指導観

○視聴覚機器・画像資料などを活用しながら、授業の内容や流れを分かりやすく示すように工夫する。

○生徒が課題意識を持って学習に取り組めるように、実際の生活につないで考えるような発問をする。

○興味・関心や課題解決への意欲をさらに高めるために書く活動や話し合う活動などの言語活動を設定し、それらの活動を通して、思考を深める。

○生徒に自分なりの考えを持たせるために、付箋を用い、自分の考えを短い言葉でまとめる時間を設定する。そのことで話すことに抵抗がある生徒も発言できるようにする。

○なるべく多くの生徒に発言の機会をあたえ、課題についての多様な考えが出されるように、グループディスカッションの学習形態を用いる。互いの考えを自由に出し合い、異なった考えに触れることによって考えが深められるようにする。

Bプロジェクト 学習評価と指導の改善の視点から	
○	道徳教育の視点として「道徳的価値の理解」「自分とのかかわり」「自己実現への意志」を設定し、それぞれの視点に沿って具体的な生徒の姿を想定した評価規準を設定し、生徒の反応を見取ることができるようにする。本時では、主に「自分とのかかわり」「自己実現への意志」重視する。
○	「自分とのかかわり」を持って考えているかを見取るために、仮の臓器提供カードに記入することで感じたことをグループの中で意見交換する等の言語活動を設ける。
○	「自己実現への意志」については、日本初の骨髄移植についてのDVDを見て感想をまとめることによって、今後の行動選択について各自に考えを持たせるようにする。
○	生徒の主体的な学習活動を促し、その際の活動の様子、発言、ワークシートに書かれた内容等によって生徒の反応を見取るようにし、できるだけ肯定的な評価を行うようにする。

### 3 単元の目標と評価規準

単元の目標	生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解できるようにする。
関心・意欲・態度	①生涯の各段階における健康や保健・医療制度及び保健・医療機関について主体的に学習するとともにグループディスカッション等において積極的に自分の意見を述べようとしている。
思考・判断	①生涯の各段階と健康とのかかわりを踏まえて、場面に応じた適切な意志決定や行動選択について自分の考えを深めている。 ②具体的な場面や事例において、保健・医療制度などの社会的資源を適切に活用する説明できるようになる。
知識・理解	①生涯の各段階と健康とのかかわりを踏まえて、場面に応じた適切な意思決定や行動選択について説明できるようになる。 ②保健・医療制度などの社会的資源を適切に活用する方法について説明できるようになる。

### 4 指導・評価の計画（11時間取扱い 本時10/11）

次	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準
1	1	○思春期と健康	・自分自身の心身の状態と比べながら思春期の行動面、心理面の特徴が理解できるようにする。	思考・判断② 男女の性の発達と意識について自分の考えを発言している。
2	2	○性意識と性行動の選択	・グループで話し合わせることで性意識の男女差を説明することができるようにする。	思考・判断① グループディスカッションの中で性情報について課題を見付け、自分なりの考えをまとめている。
3	3	○結婚生活と健康	・女性の晩婚化について意見交換させることで、健康な結婚生活を営むための留意点を理解させる。	関心・意欲・態度① グループディスカッションの中で晩婚化について課題を見付けている。
4	4	○妊娠・出産と健康	・パートナーとしての支援について意見交換させることで、受精、妊娠、出産の過程が説明できるようにする。	知識・理解① 妊娠・出産期の健康のために、本人及び周囲の人びとが留意すべき点を理解しようとしている。

5	5 6	○家族計画と人工 妊娠中絶	・人工妊娠中絶が女性の心身におよぼす影響について意見交換させ自分なりに意見をまとめさせることで、健康上からみた家族計画の意義について説明ができるようにする。	思考・判断① グループディスカッションの中で人工妊娠中絶について課題を見付け自分の意見を述べ、書き出している。
6	7	○加齢と健康	・健康のための留意点を具体的にまとめることで、加齢にともなう心身の変化を説明できるようにする。	知識・理解① 中高年期の健康のために、留意点を具体的に書き出している。
7	8	○高齢者のための 社会的とりくみ	・高齢社会に対応した地域との連携について意見交換させ、意見を書かせることで、高齢者の生活と健康に関する現状が理解できるようにする。	思考・判断① グループディスカッションの中でバリアフリー・ユニバーサルデザインについて自分の意見を述べ、書き出している。
8	9	○保健制度と保健 サービスの活用	・保健行政の役割としくみをノートに書き出すことで、説明できるようにする。	知識・理解② 保健サービスの内容とその活用法を書き出している。
9	10 本 時	○医療制度と医療 費	・わが国における医療保険のしくみを、おおまかに説明できるようにする。	知識・理解① わが国における医療保険のしくみについておおまかに説明している。
10	11	○医療機関と医療 サービスの活用	・インフォームド・コンセント、セカンドオピニオンについてグループディスカッションをすることで、医療保険の選び方について具体的に説明できるようにする。	思考・判断① グループディスカッションの中でインフォームド・コンセント、セカンドオピニオンについてグループディスカッションについて自分の意見を述べ、書き出している。

## 5 本時の学習

### (1) 目標

- わが国における医療保険のしくみを、おおまかに説明できるようになる。(知識・理解①)
- 医療費が支払われるしくみを、自分(家族)場合を例にして説明できるようになる。

(思考・判断①)

### (2) 道徳教育の視点

- 生命の尊さを理解し、かけがいのない自他の生命を尊重しようとする態度を養う。

**【道徳的価値の理解】**

- 臓器移植などについてグループディスカッションをすることで関心を高め、自分の問題として表現し自他の生命を尊重しようとする心情を深める。

**【自分とのかかわり】**

- 臓器提供意思表示カードや難病で苦しんでいる人々の思いにについて考えることで自分がいかに生きていくかということについての考えを深める。

**【自己実現への意志】**

### (3) 展開

展開	学習活動	○主な発問・指示等	指導上の留意点	備考
導入 5 分	1 本時の課題を確認する。	○医療保険のしくみを説明できるようになる。	○視聴覚機器・画像資料などを活用しながら、授業の内容や流れを分かりやすく示すように工夫する。	ワークシート

展 開 3 5 分	2 臓器移植について考える。 (1) 脳死について考える。	○臓器移植とは、どのようなことですか。 ○脳死と植物状態とはどう違うのか考えよう。 ○「自分の死を脳死とするか心臓死とするかは、本人の死生観に基づく判断」という記述に対して自分の考えを書こう。	○用語等の理解のために説明をワークシートに簡単にまとめさせる。  ○各自で自分の考えをまとめ、その後グループで出し合い共有化を図る。	臓器提供意思表示カード
	(2) 臓器提供意思表示カードに自分の意志を記入する。 【個→グループ→全体】	○臓器提供意思表示カードに自分の意思を記入してみよう。  ○家族の意思表示に対して自分はどう考えるか記入してみよう。	<b>【道徳教育の視点：自分とのかかわり、道徳的価値の理解】</b> ○仮の臓器提供意思カードを書かせることにより、自身の意思確認ができると同時に、家族で健康と死について考え、お互いを理解し尊重する態度や姿勢につなげる。 ○各自の考えをグループで出し合い、異なった考えに触れることで考えを深める。 ○グループの中で出た意見を全体で出し合い、共有化を図る。	ワークシート
	3 医療保険のしくみについて理解する。	○かかった医療費のうち何割が自己負担となると思われますか。  ○他の人の意見をワークシートに記入しよう。	○資料等を参考に各自でワークシートに記入させる。 ○パワーポイントで「国民皆保険体制」「医療保険のしくみ」についてまとめたものを提示することで確認させる。	
	4 医療費が支払われるしくみを理解する。 【個→グループ→全体】	○被用者保険と国民健康保険の違いは何ですか。  ○65歳以上の高齢者の国民医療費はどのくらい割合ですか。 ○平成20年にスタートした新しい医療制度について知っていることがありますか。	○資料等を参考にしながら、課題についての考えをまとめ、グループで出し合う。 ○パワーポイントで「後期高齢者医療制度」についてまとめたものを提示することで確認させる。	資料「決断！骨髄バンク移植第1号」(中学校道徳1明日をひらくより)
	5 DVD「決断命の一滴～白血病・日本初の骨髄バンク」(プロジェクトX挑戦者たちより)を見て自分の考えを持つ。	○今から配付する資料を読んで、田中さんと橋本さんが確かめ合ったことについて自分の考えを述べよう。	<b>【道徳教育の視点：自己実現への意志】</b> ○まず資料を用い話の概要を捉えさせる。 ○ラストシーンの映像を見せ、2人の思いについて共感させるようにする。 ○医師と患者だけでなく善意による提供がなければ成り立たない医療があるということについての考えを深めさせる。	DVD「決断命の一滴～白血病・日本初の骨髄バンク」(プロジェクトXより)

<p>整理 10分</p>	<p>6 本時のまとめをする。</p>	<p>○今日の学習について感想を発表しよう。</p>	<p>○学習全体を通して、自分なりに考えたことをまとめさせることによって、各自の考えの変容が見とれるようにする。</p>	
-------------------	---------------------	----------------------------	--	--